

D | AM世界インカム・オープン (毎月決算コース)

<愛称：世界三重奏>

追加型投信／海外／資産複合

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、実質的に外国債券、外国不動産投資信託証券および外国株式に投資を行い、安定的な収益の確保と信託財産の着実な成長を目標として運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2025年6月27日～2025年12月26日

第236期	決算日：2025年7月28日	
第237期	決算日：2025年8月26日	
第238期	決算日：2025年9月26日	
第239期	決算日：2025年10月27日	
第240期	決算日：2025年11月26日	
第241期	決算日：2025年12月26日	
第241期末 (2025年12月26日)	基準価額	11,591円
	純資産総額	3,394百万円
第236期～ 第241期	騰落率	10.4%
	分配金合計	120円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

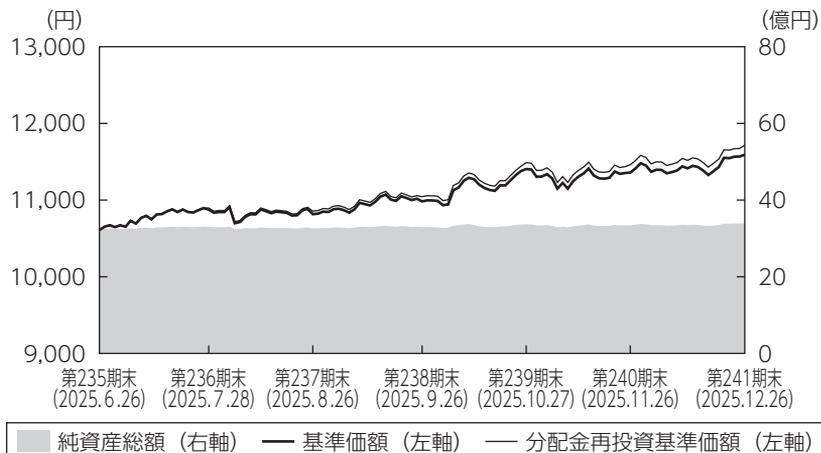
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <https://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



第236期首：10,609円
 第241期末：11,591円
 (既払分配金120円)
 騰落率：10.4%
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

米国の追加関税政策に対して主要国の関税交渉が進展したことで景気や企業業績への過度な警戒感が後退したこと、米欧の利下げを好感したこと、米国で底堅い景況感が維持されたこと等から主要国の株式市場が上昇したこと、為替市場で多くの通貨に対して円安となったこと等がプラス寄与し、基準価額は上昇しました。

◆組入ファンドの当作成期間の騰落率

組入ファンド	騰落率
D I AM高格付インカム・オープン・マザーファンド	9.5%
D I AM世界好配当株オープン・マザーファンド	18.0%
D I AM US・リート・オープン・マザーファンド	6.8%
D I AM インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンド	9.6%

1 万口当たりの費用明細

項目	第236期～第241期		項目の概要
	(2025年6月27日 ～2025年12月26日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	73円	0.659%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は11,077円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各种書類の作成、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(投信会社)	(39)	(0.352)	
(販売会社)	(30)	(0.275)	
(受託会社)	(4)	(0.033)	
(b) 売買委託手数料	2	0.017	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(株式)	(1)	(0.012)	
(投資信託受益証券)	(0)	(0.001)	
(投資証券)	(0)	(0.004)	
(c) 有価証券取引税	2	0.014	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(1)	(0.009)	
(投資証券)	(1)	(0.005)	
(d) その他費用	1	0.009	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
(保管費用)	(1)	(0.008)	
(監査費用)	(0)	(0.002)	
(その他)	(0)	(0.000)	
合計	77	0.699	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

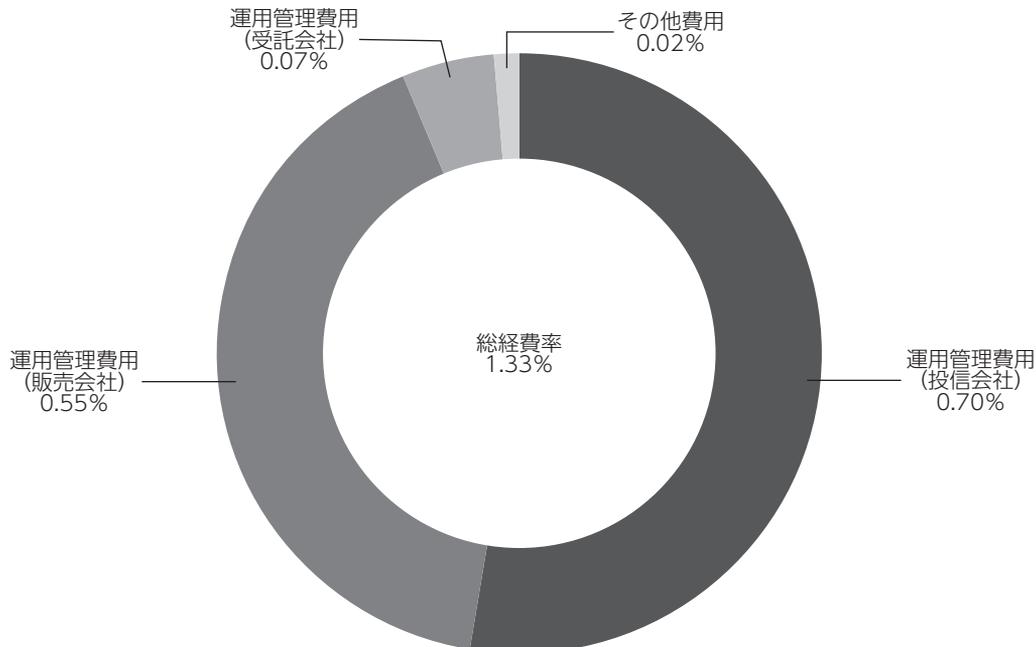
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（参考情報）

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.33%です。



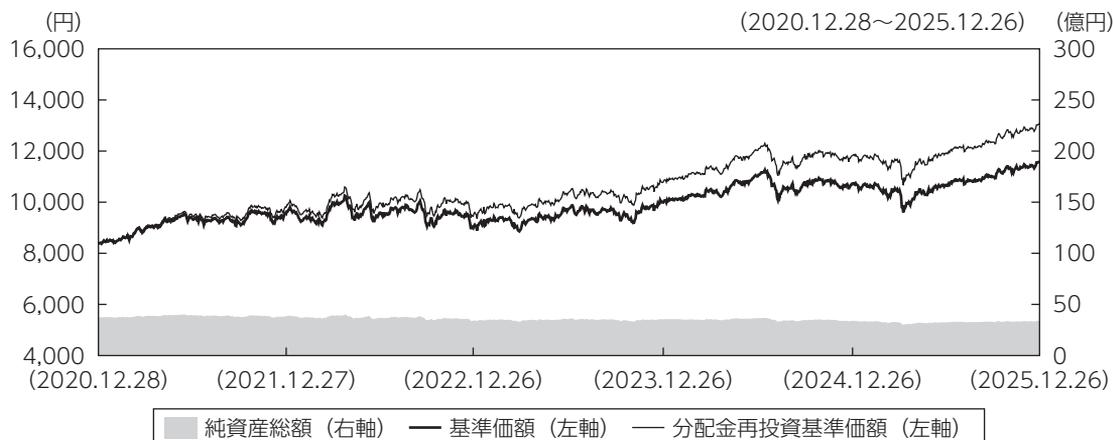
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2020年12月28日の基準価額に合わせて指数化しています。

		2020年12月28日 期首	2021年12月27日 決算日	2022年12月26日 決算日	2023年12月26日 決算日	2024年12月26日 決算日	2025年12月26日 決算日
基準価額 (分配落)	(円)	8,360	9,551	8,978	9,989	10,704	11,591
期間分配金合計 (税引前)	(円)	—	240	240	240	240	240
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	17.3	△3.6	14.1	9.6	10.7
純資産総額	(百万円)	3,720	3,831	3,379	3,532	3,389	3,394

(注) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。

投資環境

外国債券市場では投資国の10年国債利回りは多くで上昇（価格は下落）しました。当作成期は全ての投資国で利下げが実施されたものの、インフレの下げ渋りや堅調な景気指標の発表を受け、利下げ局面の終了が意識されたことなどが10年国債利回りの上昇要因となりました。こうした中、オーストラリアやカナダ、ノルウェーで利回りが上昇した一方で、当作成期に大幅な利下げを行ったニュージーランドでは利回りが低下（価格は上昇）しました。

外国株式市場は上昇しました。作成期初から7月までは、米国の追加関税政策に対して、EU（欧州連合）や中国などに対して関税交渉が進展したことなどから、株価は上昇しました。作成期末にかけては、米国の政府閉鎖を受けたマクロ統計発表の遅延や利益確定の売りなどを受けて調整する局面があったものの、AI（人工知能）関連企業による積極的な設備投資見通しや、FRB（米連邦準備理事会）による利下げ見通しなどを背景に堅調に推移し、株価は上昇しました。

米国リート市場は上昇しました。作成期初から中東情勢の緊迫化やデータセンターリートのガイダンスの下方修正が嫌気されたことなどをを受けて、リートは下落しました。その後はFRB（米連邦準備理事会）が利下げへと姿勢を転換したことなどを好感して上昇に転じましたが、米政府機関の閉鎖やハイテク株をはじめとした相場の過熱感に対する懸念などもあり、上げ幅を縮小して作成期末を迎えました。セクター別では、工業やヘルスケアなどが相対的に大きく上昇しました。

米国以外の市場については、まちまちの展開となりました。欧州市場では大陸欧州はFRB（米連邦準備理事会）の利下げ期待などをを受けて小幅に上昇しました。一方で英国は財政悪化懸念などもあり下落しました。アジア市場では対米関税懸念の後退などを背景にシンガポールリートが上昇しました。一方で小売施設リートの慎重な見通しが嫌気され、香港は下落しました。豪州では、RBA（オーストラリア準備銀行）による利下げなどをを受けて上昇しました。

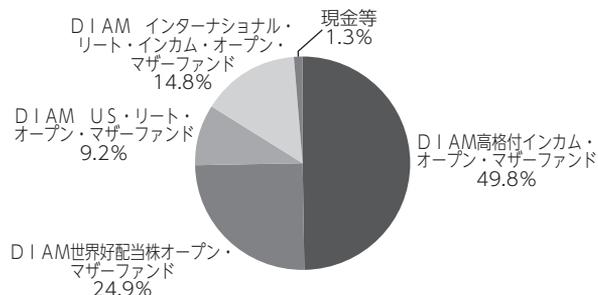
為替市場では円は多くの主要通貨に対して下落する動きとなりました。ドル/円相場は、内外金利差が縮小したものの、日銀が追加利上げに慎重な姿勢を継続するとの見方や、本邦の財政悪化が懸念されたこと等から円安ドル高の動きとなりました。その他主要通貨に対しても、日銀が追加利上げに慎重な姿勢を継続するとの見方や、本邦の財政悪化が懸念されたこと等から円安現地通貨高の動きとなりました。

ポートフォリオについて

●当ファンド

当ファンドでは、外国債券（D I A M 高格付インカム・オープン・マザーファンド）50%、外国株式（D I A M 世界好配当株オープン・マザーファンド）25%、外国リート（D I A M U S ・リート・オープン・マザーファンド、D I A M インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンド）25%を基本資産配分比率とし、各資産の組入比率が概ね基本資産配分比率に維持されるように資産配分を行いました。

○マザーファンド組入比率（2025年12月26日現在）



(注) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

●D I A M 高格付インカム・オープン・マザーファンド

基本国別投資比率（カナダ40%、オーストラリア40%、ニュージーランド10%、ノルウェー10%）を概ね維持しました。デュレーション*については、投資国および世界経済見通し、主要国および投資国のインフレ動向や金融政策等を勘案して調整を行いました。当作成期末のデュレーションは、前作成期末対比で短期化した水準としました。

*金利変動に対する債券価格の変動性。

●D I A M 世界好配当株オープン・マザーファンド

銘柄選択においては、「地域の分散」「業種の分散」に着目し、世界の好配当株への投資を通じて、安定した配当収益の確保と中長期的な値上がり益の確保をめざした運用を行いました。地域別では、概ね前作成期末と同様の資産配分を維持しました。業種別では、幅広い業種に分散投資を行う中、情報技術セクターに対する投資比率を引き下げた一方、公益セクターなどを引き上げました。金融セクターに対する投資比率は高位を維持しました。

●D I A M US・リート・オープン・マザーファンド

適正価格に到達したとみられる銘柄については、適宜入替えを行いました。また、米国景気の先行きや金利の動向も注視しつつ、長期的に見て成長見込みがある銘柄や、割安な水準にある銘柄を選別して投資しました。工業や小売りなどの組入比率を引き上げる一方、その他やヘルスケアなどの組入比率を引き下げました。

●D I A M インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンド

保守的な財務体質かつ配当成長の見込めるキャッシュフローの安定した銘柄を選別して投資を行いました。また、適正価格に到達した銘柄は適宜入替えを行いました。地域別では、ベルギーなどの組入比率を引き上げる一方、カナダなどの組入比率を引き下げました。また、用途別では、混合型やヘルスケアなどの組入比率を引き上げる一方、住居施設や工業などの組入比率を引き下げました。

分配金

収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第236期	第237期	第238期	第239期	第240期	第241期
	2025年6月27日 ~2025年7月28日	2025年7月29日 ~2025年8月26日	2025年8月27日 ~2025年9月26日	2025年9月27日 ~2025年10月27日	2025年10月28日 ~2025年11月26日	2025年11月27日 ~2025年12月26日
当期分配金（税引前）	20円	20円	20円	20円	20円	20円
対基準価額比率	0.18%	0.18%	0.18%	0.18%	0.18%	0.17%
当期の収益	20円	15円	20円	20円	10円	20円
当期の収益以外	-円	4円	-円	-円	9円	-円
翌期繰越分配対象額	1,240円	1,235円	1,245円	1,615円	1,605円	1,801円

（注1）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

（注3）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

当ファンドでは、各マザーファンドを基本配分比率に従い配分いたします。また、時価の変動などにより時価構成比が変化した場合には、定期的に基本資産配分比率に修正します。マザーファンドの組入比率についても高位組入れを維持します。

●D I A M高格付インカム・オープン・マザーファンド

基本国別投資比率（カナダ40%、オーストラリア40%、ニュージーランド10%、ノルウェー10%）に沿った運用を維持する方針です。デフレーションについては、主要国および投資国の経済やインフレ見通し、合わせて金融政策動向の変化や利回り水準等を勘案しながら機動的に調整します。

●D I A M世界好配当株オープン・マザーファンド

外国株式市場は、各国の金融政策を巡る思惑や企業業績への懸念などから短期的には不安定な相場展開も想定され、銘柄選択の重要性がより高まると考えます。配当利回りが市場平均以上であり、利益およびキャッシュフローの成長性が高く、将来的にも十分な配当が期待できる銘柄を選別する運用方針を継続します。

●D I A M US・リート・オープン・マザーファンド

米関税による米国景気への悪影響や米国の雇用情勢が懸念され、F R Bによる利下げ期待は残るものの、先行きが見通しにくい状況です。当ファンドでは従来と同様に、長期的な成長が期待できる銘柄を選別して投資する方針です。また、割安な水準にある銘柄にも投資することにより、比較的高い配当利回りを維持できるポートフォリオを構築していきます。

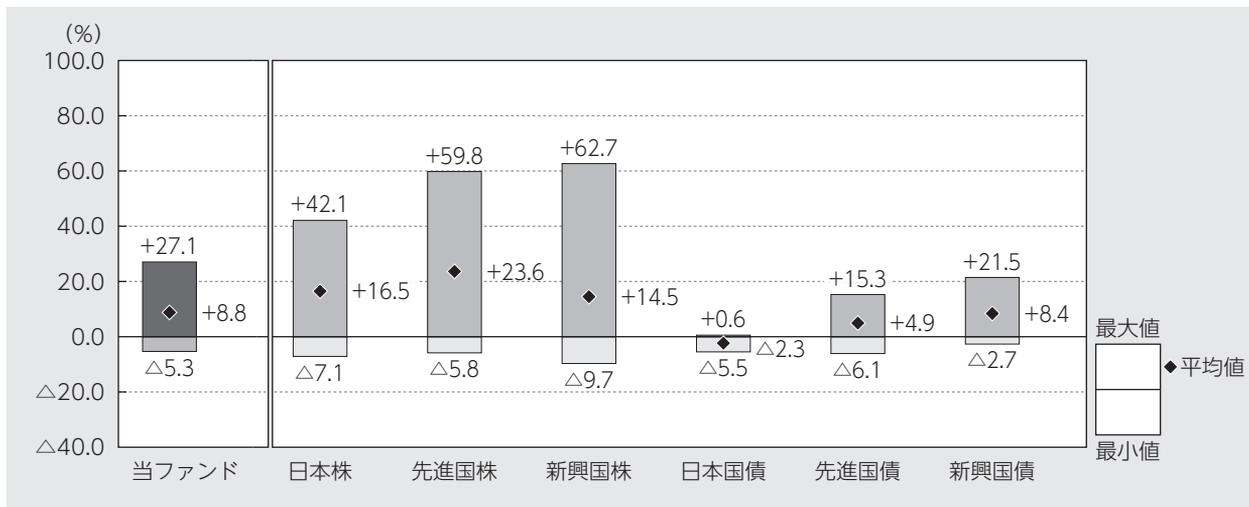
●D I A M インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンド

米国以外において、欧州では相対的な割安感が下支えとなっていますが、オフィスなどでは厳しいファンダメンタルズが予想されます。こうした中、欧州市場は、強力な価格決定力を持つ銘柄などへの投資を行っていく方針です。オーストラリア市場は、財務体質や成長性、配当利回りなどで選別し投資する方針です。アジア市場は、優れた収益成長見通しと健全な資本管理を持つ銘柄を選別し投資を行っていく方針です。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／資産複合	
信託期間	2005年9月29日から無期限です。	
運用方針	安定的な収益の確保と信託財産の着実な成長を目標として運用を行います。	
主要投資対象	D I A M 世界インカム・オープン（毎月決算コース）	以下の各マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	D I A M 高格付インカム・オープン・マザーファンド	高格付資源国の公社債を主要投資対象とします。
	D I A M 世界好配当株オープン・マザーファンド	日本を除く世界各国の株式を主要投資対象とします。
	D I A M U S ・リート・オープン・マザーファンド	米国の証券取引所に上場もしくは上場に準ずる不動産投信等の投資信託証券を主要投資対象とします。
	D I A M インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンド	米国および日本を除く世界各国の証券取引所に上場もしくは上場に準ずる不動産投信等の投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	<p>各マザーファンド受益証券への投資を通じ、実質的に外国債券、外国不動産投資信託証券および外国株式に投資を行います。</p> <p>マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持します。</p> <p>中長期的なリスク水準等を勘案し、各マザーファンド受益証券への基本配分を決定し、投資を行います。</p> <p>各マザーファンド受益証券の時価の変動等により、時価構成比が変化した場合には、定期的に基本配分に修正します。</p> <p>実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジは行いません。</p>	
分配方針	<p>決算日（原則として毎月26日。休業日の場合は翌営業日。）に、経費控除後の利子・配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等のうち、原則として利子・配当等収益を中心に安定した収益分配を継続的に行うことをめざします。また、毎年6月および12月の決算時には、原則として利子・配当等収益に売買益（評価益を含みます。）等を加えた額から分配を行います。分配金額につきましては、基準価額水準および市況動向等を勘案し委託会社の判断により決定します。但し、分配対象額が少額の場合には、分配を行わない場合があります。</p>	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2020年12月～2025年11月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したもとして計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容（2025年12月26日）

◆組入ファンド等

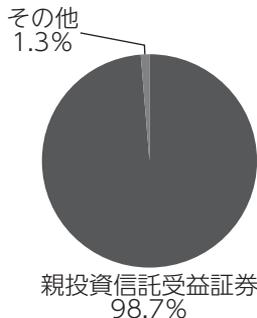
（組入ファンド数：4ファンド）

	第241期末
	2025年12月26日
D I A M高格付インカム・オープン・マザーファンド	49.8%
D I A M世界好配当株オープン・マザーファンド	24.9
D I A M インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンド	14.8
D I A M U S ・リート・オープン・マザーファンド	9.2
その他	1.3

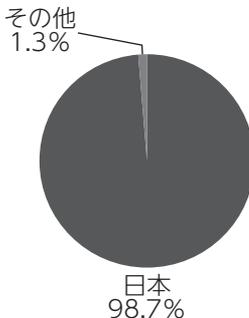
（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

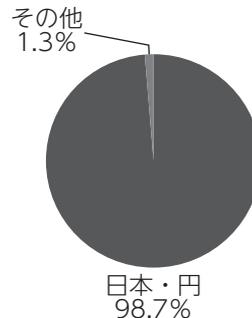
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。

純資産等

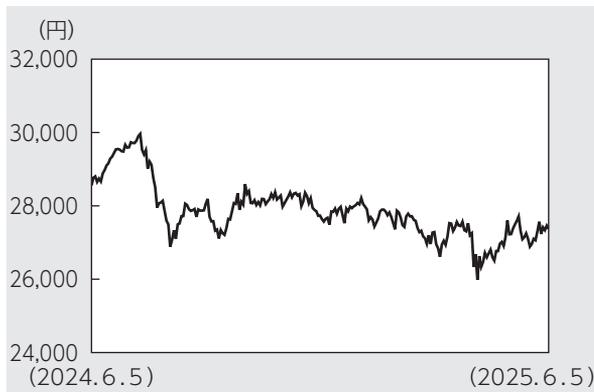
項目	第236期末	第237期末	第238期末	第239期末	第240期末	第241期末
	2025年7月28日	2025年8月26日	2025年9月26日	2025年10月27日	2025年11月26日	2025年12月26日
純資産総額	3,301,702,201円	3,262,439,555円	3,294,491,995円	3,367,224,992円	3,343,106,863円	3,394,998,611円
受益権総口数	3,035,843,837口	3,016,369,615口	2,999,624,046口	2,952,468,607口	2,943,509,092口	2,929,091,856口
1万口当たり基準価額	10,876円	10,816円	10,983円	11,405円	11,358円	11,591円

（注）当作成期間（第236期～第241期）中における追加設定元本額は3,994,715円、同解約元本額は120,574,262円です。

組入ファンドの概要

[D I AM高格付インカム・オープン・マザーファンド] (計算期間 2024年6月6日~2025年6月5日)

◆基準価額の推移



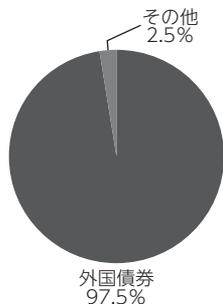
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
CANADA 0.25 03/01/26	カナダ・ドル	6.4%
CANADA 3.25 12/01/34	カナダ・ドル	5.0
AUSTRALIAN 0.25 11/21/25	オーストラリア・ドル	3.9
AUSTRALIAN 4.5 04/21/33	オーストラリア・ドル	2.9
AUSTRALIAN 2.5 05/21/30	オーストラリア・ドル	2.7
AUSTRALIAN 1.25 05/21/32	オーストラリア・ドル	2.6
KOMBNK 4.9 10/05/26	カナダ・ドル	2.6
CANADA 3.25 12/01/33	カナダ・ドル	2.5
KOMBNK 4.25 07/16/25	オーストラリア・ドル	2.4
CANADA 2.5 12/01/32	カナダ・ドル	2.4
組入銘柄数	70銘柄	

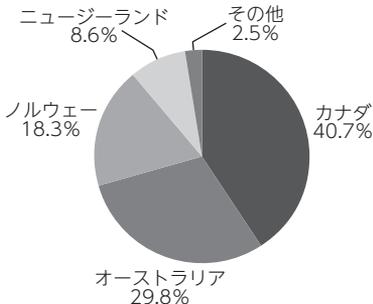
◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用) (その他)	3円 (3) (0)	0.009% (0.009) (0.000)
合計	3	0.009
期中の平均基準価額は27,845円です。		

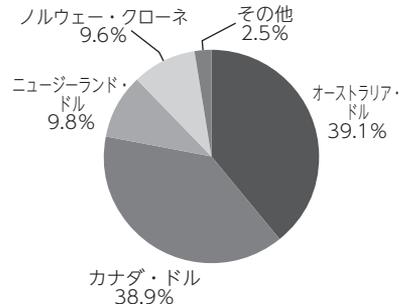
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 現金等はその他として表示しています。

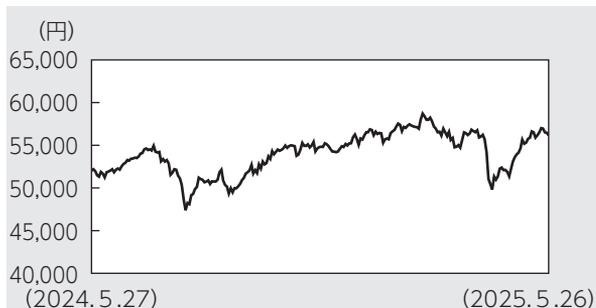
(注6) 国別配分は、発行国(地域)を表示しています。また、国際機関の発行する債券については「国際機関」と表示しています。

(注7) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

【DIAM世界好配当株オープン・マザーファンド】

（計算期間 2024年5月28日～2025年5月26日）

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄

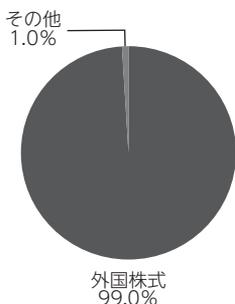
銘柄名	通貨	比率
PHILIP MORRIS INTERNATIONAL	アメリカ・ドル	4.1%
SAP SE	ユーロ	3.7
DEUTSCHE TELEKOM AG-REG	ユーロ	3.6
MICROSOFT CORP	アメリカ・ドル	3.4
SIEMENS AG-REG	ユーロ	3.2
CISCO SYSTEMS INC	アメリカ・ドル	2.8
ABBVIE INC	アメリカ・ドル	2.6
IBERDROLA SA	ユーロ	2.5
CME GROUP INC	アメリカ・ドル	2.5
BROADCOM INC	アメリカ・ドル	2.4
組入銘柄数	71銘柄	

◆1万口当たりの費用明細

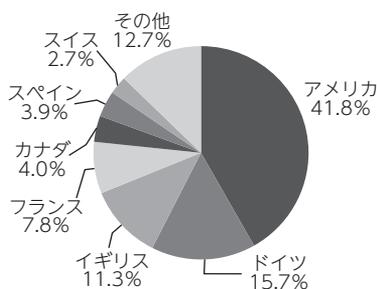
項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式)	32円 (32)	0.059% (0.059)
(b) 有価証券取引税 (株式)	19 (19)	0.035 (0.035)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	11 (11) (0)	0.020 (0.020) (0.000)
合計	61	0.113

期中の平均基準価額は54,026円です。

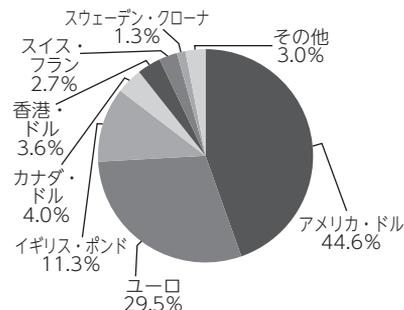
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 国別配分は、発行国（地域）を表示しています。

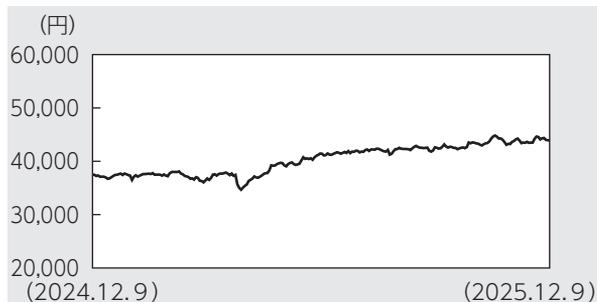
(注6) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。

(注7) 現金等はその他として表示しています。

(注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

[DIAM インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンド] (計算期間 2024年12月10日~2025年12月9日)

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄

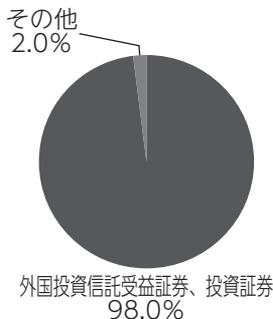
銘柄名	通貨	比率
VASTNED NV	ユーロ	7.3%
STOCKLAND	オーストラリア・ドル	5.4
LONDONMETRIC PROPERTY PLC	イギリス・ポンド	5.0
MERLIN PROPERTIES SOCIMI SA	ユーロ	4.9
NATIONAL STORAGE REIT	オーストラリア・ドル	4.9
PRIMARY HEALTH PROPERTIES PLC	イギリス・ポンド	4.8
HAMMERSON PLC	イギリス・ポンド	4.8
WAREHOUSES DE PAUW	ユーロ	4.6
PARKWAY LIFE REIT	シンガポール・ドル	4.6
CT REAL ESTATE INVESTMENT TRUST	カナダ・ドル	4.5
組入銘柄数	27銘柄	

◆1万口当たりの費用明細

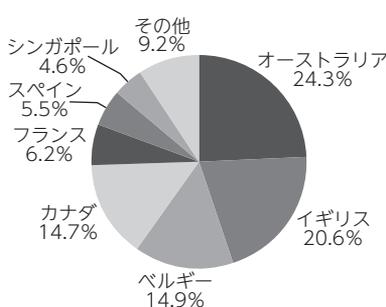
項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (投資信託受益証券) (投資証券)	11円 (5) (6)	0.027% (0.013) (0.015)
(b) 有価証券取引税 (投資証券)	19 (19)	0.048 (0.048)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	11 (9) (2)	0.028 (0.022) (0.006)
合計	42	0.104

期中の平均基準価額は40,264円です。

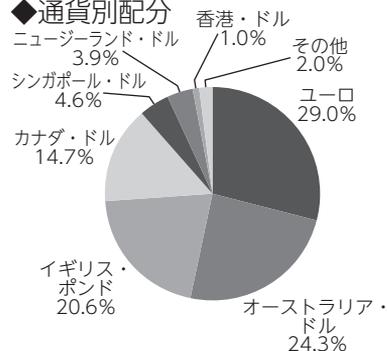
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 国別配分につきましては発行国(地域)で表示しております。

(注6) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。

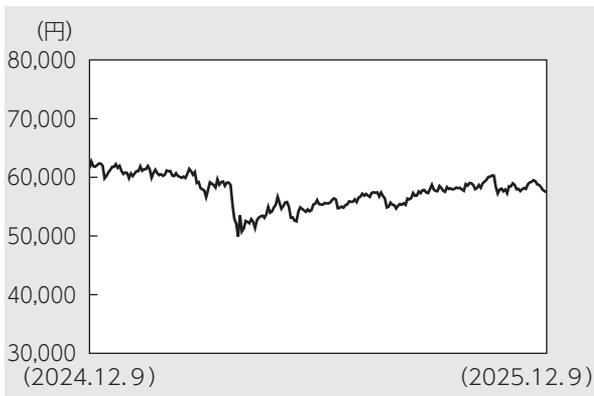
(注7) 現金等はその他として表示しています。

(注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

【DIAM US・リート・オープン・マザーファンド】

（計算期間 2024年12月10日～2025年12月9日）

◆基準価額の推移



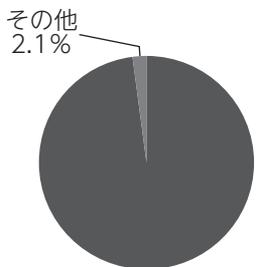
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
PROLOGIS INC	アメリカ・ドル	8.9%
EQUINIX INC	アメリカ・ドル	5.3
BXP INC	アメリカ・ドル	4.7
REXFORD INDUSTRIAL REALTY INC	アメリカ・ドル	4.5
SIMON PROPERTY GROUP INC	アメリカ・ドル	4.3
DIGITAL REALTY TRUST INC	アメリカ・ドル	4.1
BRIXMOR PROPERTY GROUP INC	アメリカ・ドル	3.9
PUBLIC STORAGE	アメリカ・ドル	3.8
COUSINS PROPERTIES INC	アメリカ・ドル	3.6
AVALONBAY COMMUNITIES INC	アメリカ・ドル	3.5
組入銘柄数	35銘柄	

◆1万口当たりの費用明細

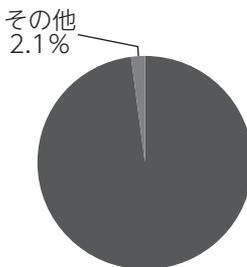
項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (投資証券)	26円 (26)	0.044% (0.044)
(b) その他費用 (保管費用) (その他)	7 (7) (0)	0.012 (0.012) (0.000)
合計	33	0.057
期中の平均基準価額は57,602円です。		

◆資産別配分



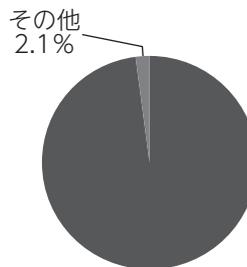
外国投資信託受益証券、投資証券
97.9%

◆国別配分



アメリカ
97.9%

◆通貨別配分



アメリカ・ドル
97.9%

(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 国別配分につきましては発行国（地域）で表示しております。

(注6) 現金等はその他として表示しています。

(注7) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、日本の株式市場を広範に網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数の指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(このページは白紙です)

(このページは白紙です)

